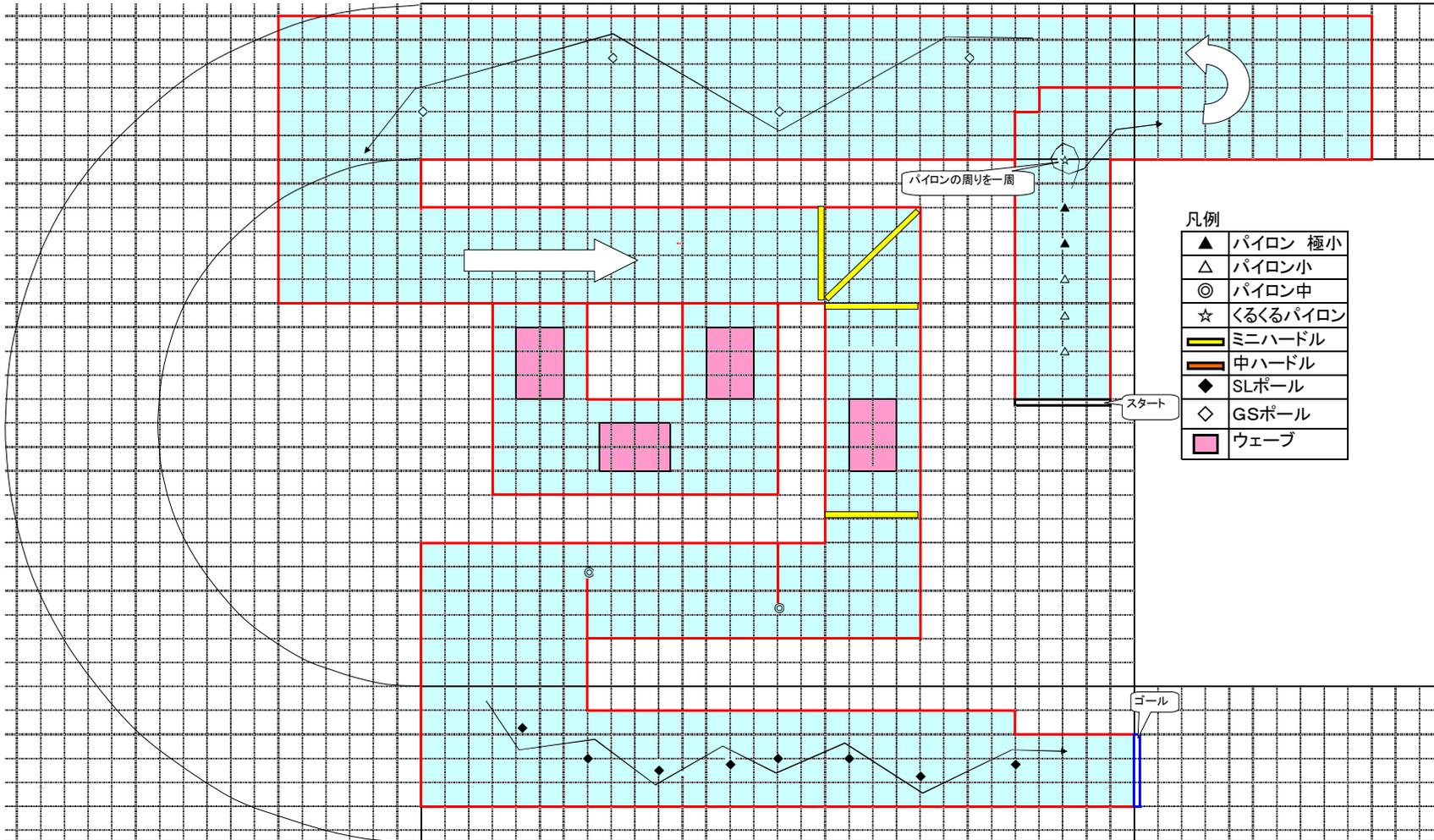
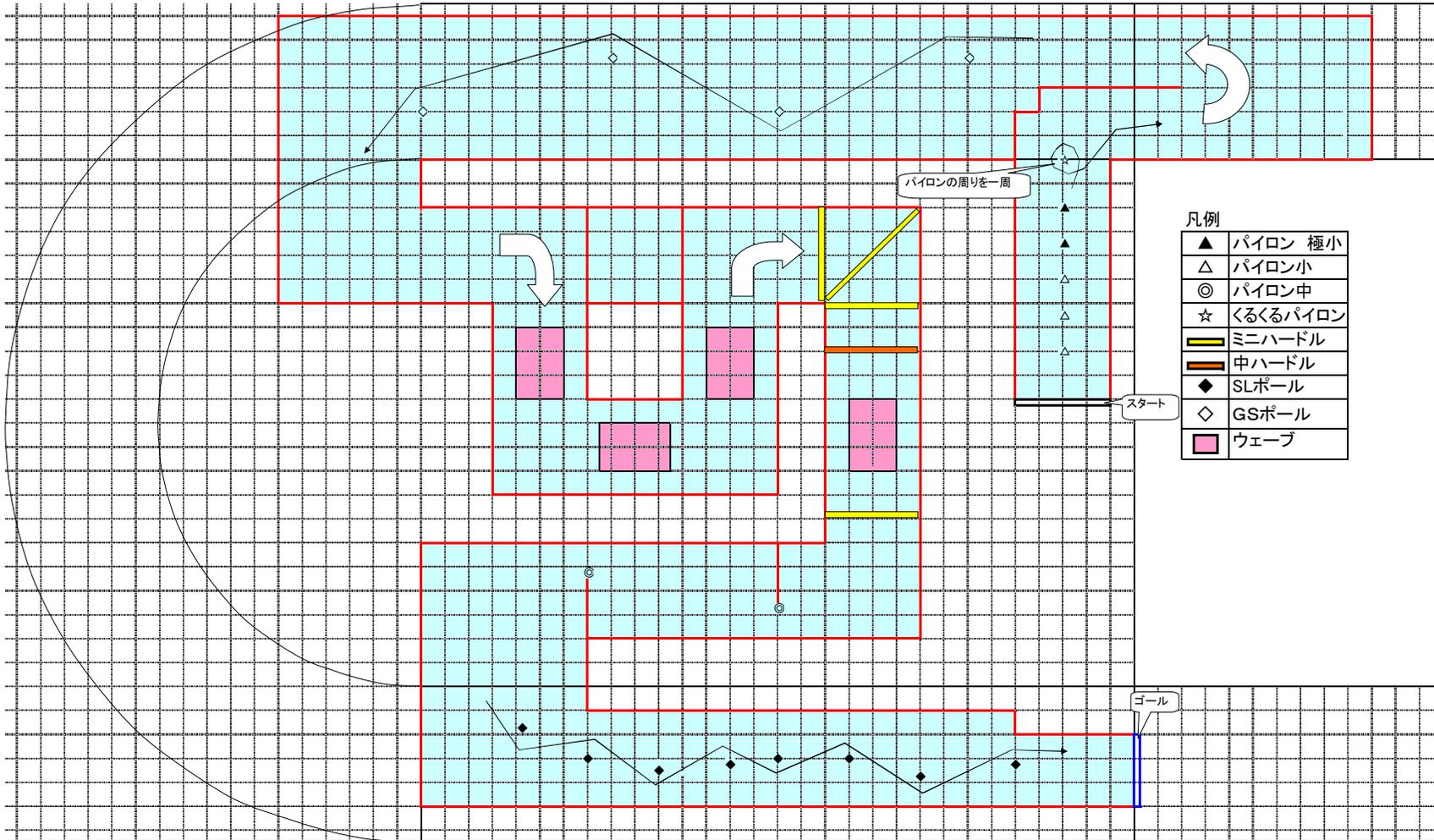


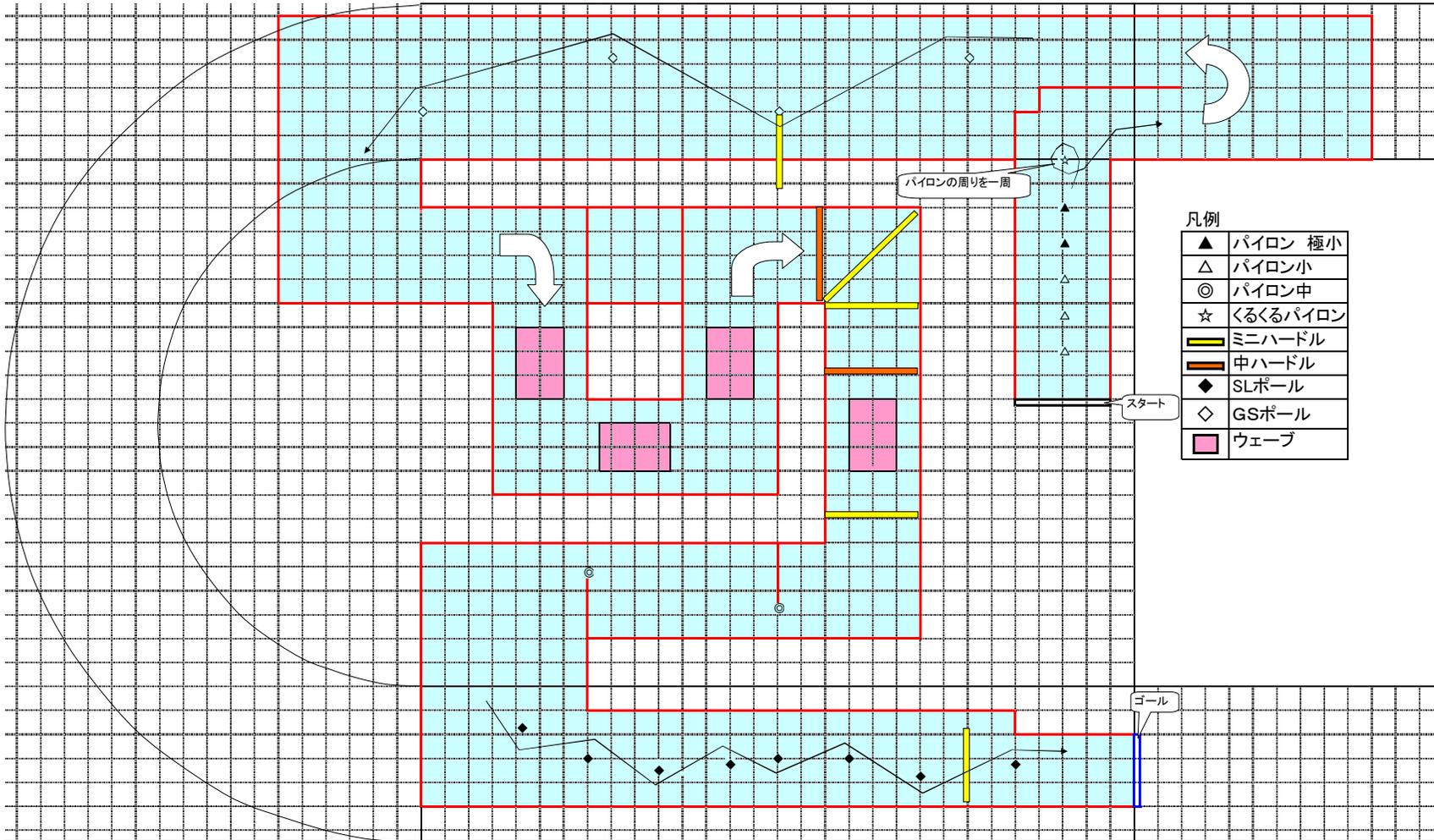
見習いクラス(予定)



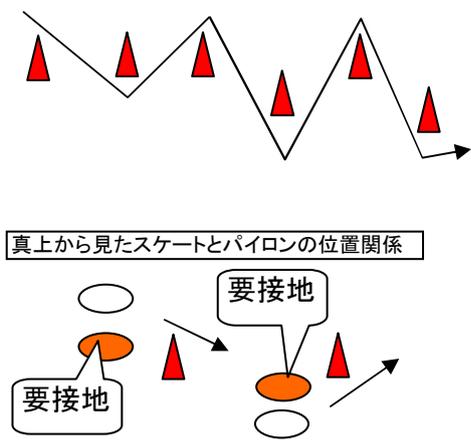
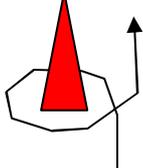
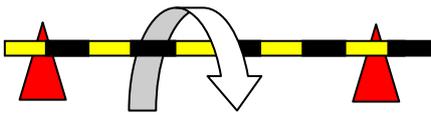
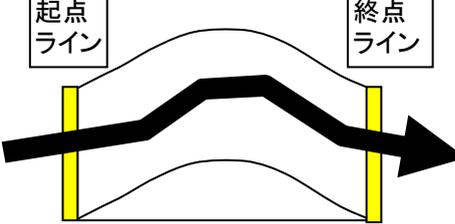
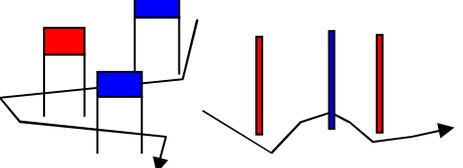
くのいち、達人クラス(予定)



名人クラス(予定)



# セクション通過規定

<p>パイロン スラローム</p>	<p>パイロンはジグザグ走行する。走行方法は①②のいずれか。                  ①スケATING又はパラレルターン                  (スネーク、クロスは不可)                  真上から見て、通過するパイロンに近い方のスケートのウィールを1輪以上接地させれば<b>失格</b>とする。(右の図を参照)                  ②ワンフット(セクション通過途中で浮かせている足を接地したら<b>失格</b>とする)                  パイロンにスケートが触れ、移動しても問題とはならないが、<b>パイロンが倒れた場合はパイロン1つ当たり1秒タイム加算</b>とする。</p>	 <p>真上から見たスケートとパイロンの位置関係</p> <p>要接地</p> <p>要接地</p>
<p>くるくるパイロン</p>	<p>パイロンの周りを一周すること。<b>パイロンを倒した場合は失格</b>とする。</p>	
<p>コーンバー ハードル (ミニ、中 共通)</p>	<p>パイロンにコーンバーをつけた障害です。<b>倒した場合はハードル1つ当たり1秒タイム加算</b>とする。両スケートがコーンバーの上空を通過さえすれば、跳んでも、またいでもOK。</p>	
<p>ウェーブ</p>	<p>ウェーブ上を通過する。両スケートがウェーブ上空を通過すれば、ジャンプして通過しても構わない。横からの進入は認めない。起点ラインを通過後、終点ラインを通過するまでにウェーブ上空から外れた場合(片足の一部でもウェーブ上からはみ出だせばアウト)は、起点からもう一度やり直しとする。</p>	 <p>起点ライン</p> <p>終点ライン</p>
<p>可等式ポール SL, GLポール</p>	<p>ポールの外側を両スケートが通過すればOK。ポールは倒してもOK。不通過の場合は、その場所に戻ってからやり直せばOK。</p>	
<p>コースアウト</p>	<p>コースアウトをした場合は、コースアウトをした場所よりスタート側より復帰すること。ゴール側より復帰した場合は失格とする。</p>	
<p>その他</p>	<p>その他、常識的にセクション不通過と判断すべきことが発生した場合は、競技統括または審判長の判断で失格とする。疑義がある場合は、必ず事前に競技統括または審判長に確認すること。  <b>また、抗議については、ゴールライン通過前に行い、ゴールラインは通過しないこと。</b></p>	